

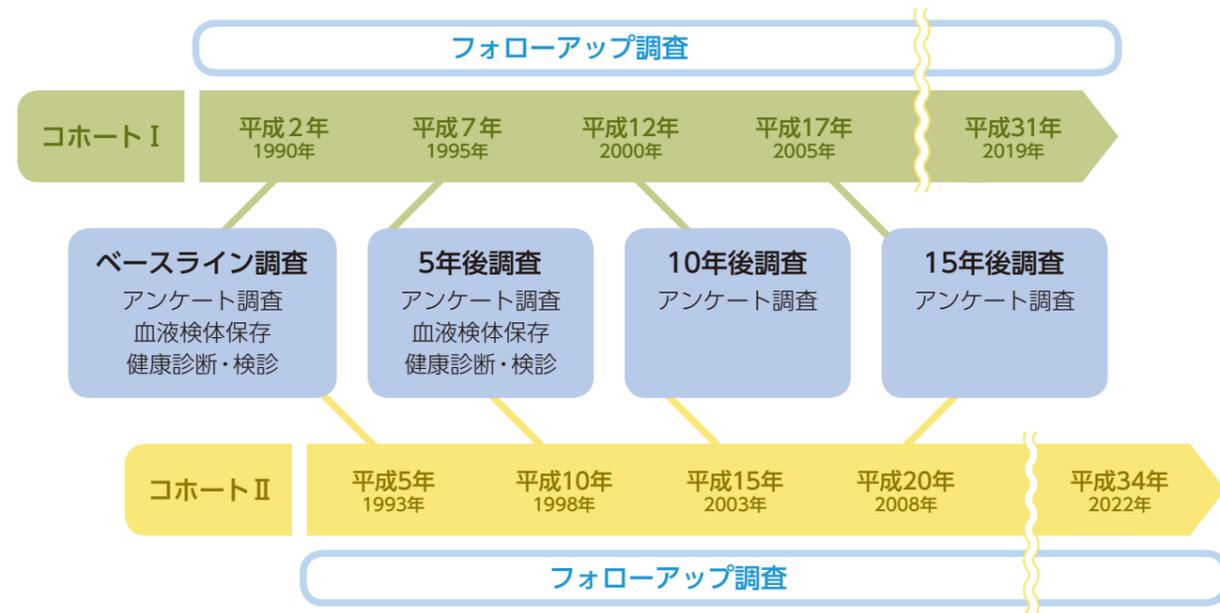
研究成果の還元

参加者へのコホート研究の成果に関する情報の還元などを目的に、成果の概要をまとめた冊子等をお送りしています。また、研究班のホームページで最新の情報を入手できるようにし、希望者へe-mailでリサーチニュースの配信を行っています。



研究スケジュール

コホート I の平成 2 年からの予定とコホート II の平成 5 年からの流れを以下に示します。



問い合わせ先 (平成 29 年 3 月現在)

Japan Public Health Center-based prospective Study

多目的コホート研究

中央研究事務局 国立がん研究センター予防研究グループ

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-1

TEL: 03 (3542) 2511 (内線1946)

E-mail: jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp

FAX: 03 (3547) 8580

ホームページ: <http://epi.ncc.go.jp/jphc/>



多目的コホート研究

JPHC STUDY

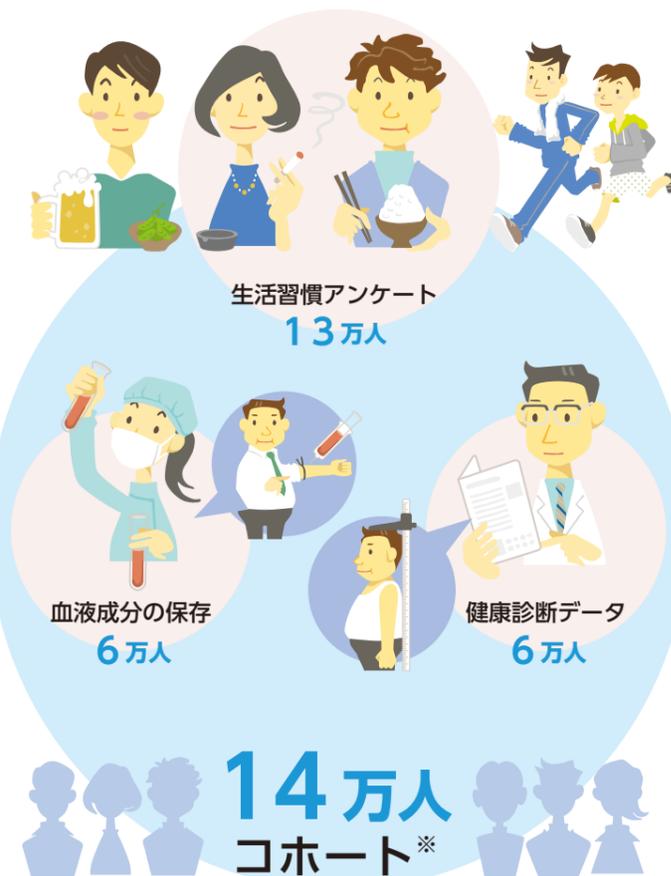
Japan Public Health Center-based Prospective Study



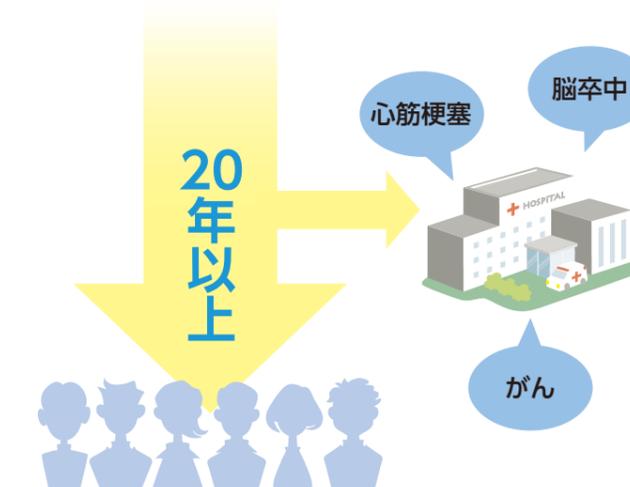
研究の概要

日本人をその平均寿命(2015年:男性81歳、女性87歳)以前に死に至らしめたり、生活の質を低下させる重要な原因になっている、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などの病気の発生には、食習慣・運動・喫煙・飲酒などの生活習慣が深く関わっており、生活習慣の改善によって、これら疾病の発生をある程度未然に防ぐことが可能であるものと考えられています。

しかしながら、どのような食事をどの程度とればよいのか、飲酒はどの程度が適量であるか、などについて、日本人についてのデータは十分とは言えないのが現状です。そこで、約10万人の地域住民の方から生活習慣や健康に関する情報と血液を提供していただき、どのような生活習慣を持つ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにするために、多目的コホート研究を立ち上げ、20年以上にわたる長期追跡により、結果を積み上げてきました。さらに期間を延長することにより、長期にわたる予防やリスク要因について、新たな実証的データを得て、日本人の健康のためにはどのような生活が望ましいのかを追求します。



※「コホート」とは、追跡を行っていく特定集団を意味します。



この研究は、国立がん研究センター研究開発費(平成21年度までは厚生労働省がん研究助成金)による「多目的コホート研究に基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」班(主任研究者 津金昌一郎 国立がん研究センター社会と健康研究センター長)において全国11保健所と国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、大学、研究機関、医療機関などの共同研究として行われています。

